



平成 29(2017)年 2月 2日  
在ベネズエラ日本国大使館  
附属カラカス日本人学校発行

目指す児童生徒像 よく考える子 思いやりのある子 進んでやりぬく子 強くたくましい子 日本もベネズエラもよく知る子

## 仲間と一緒に、自宅授業も泉のほとりもまた楽し… 2月(如月・きさらぎ)が始まりました!



### ふれあいの泉

La fuente de la armonia

#### 観察池を「ふれあいの泉」とつけた意味

日本人学校の玄関の横にある観察池には、名前がありませんでした。この池のほとりで、人と人、人と魚、人と草花、人と生き物、人と風、人と香り…などが出会い、ふれあうことを願って、「ふれあいの泉」と名付けました。スペイン語では「La fuente de la armonia」としました。ハーモニー(調和・和合)の泉という意味になります。これからも素敵なおふれあいが、この泉のほとりで生まれ、育まれることを願っています。

#### 急な祝日は、自宅授業で対応します

2月1日(水)は、急な祝日になりました。そこで、自宅授業を行い、授業を通常通り確保しました。体育は、住宅の庭を活用して、走ったり跳んだり柔軟したり…いい汗をかきました。



### カラカス日本人学校をもっともっと知り、もっともっと好きになるために…(その150)

#### カラカス日本人学校はみんなの大切な、大切な宝物です! NO. 45

今回も、西岡裕知先生の「カラカス太鼓」創設の頃の話、その4回目です。子どもたちも大好きな曲「海をこえて～Las Olas～」は、どのようにして誕生したのかのお話です。全教員の創意があったことがよく分かります。

#### ■ カラカス太鼓ができるまで(海をこえて～Las Olas～)が完成するまで2) ■

カラカス太鼓を華やかにしているのは銭太鼓である。銭太鼓の音については楽譜にしているが、動きについては全くない(私の力では考えられない)。指導の中川教諭のセンスが光る動きである。曲想を表現するような動き、1・2年生の自然な躍動感……。太鼓は音楽でもあるがパフォーマンスでもあるという、この大きなポイントを銭太鼓が表現してくれている。

平成7年度になり、新たに小宮教諭がメンバーに加わった。すでに完成している「アビラのひびき」の指導にすぐに入らなければならない。着任早々すぐに曲を覚えて長胴太鼓の指導にあたり、「海をこえて～Las Olas～」ができた後は、ラテン風のリズムのキーポイントになる鈺のパートの指導にあたった。前半は強拍で、後半は弱拍が入るリズムは簡単にはたたけるものではない。しかし、彼はすぐにリズムを覚えてしまった。そしてそのリズム感を生かした的確な指導で初めて鈺に取り組み子どもを短期間のうちに演奏できるようにしてしまい、「海をこえて～Las Olas～」を引き締めている。

私たちの強さは、子どもたちに指導することにあたり、職員自身が演奏できるようにしていこうという心構えであろう。学習発表会のときに行われた鈴木教諭の送別会では、氏の壮行の気持ちを込めて「アビラのひびき」が演奏された。福井教諭は本番のステージにおいても(練習中もそうであったように)、ソロのときは乗りに乗って、片膝立てはおろか、中腰になって動き回りながら演奏していた。彼の太鼓はまさにパフォーマンスである。気持ちが自然に体の動きになって現れる感性を子どもたちにも育てたいものである。なお福井教諭は「友情のフェイスタ」を作詞した麻生さんの父親である。中澤校長自らばちを持ち、11人全員による演奏であった。これが「アビラのひびき」いや「カラカス太鼓」の初めてのお披露目の日であった。時に平成6年(1995年)1月。和太鼓と決めてから半年の後である。

ふりかえてみると、カラカスで和太鼓の響きが生まれたのは、外国で太鼓をたたこうという途方もない計画を考えてゼロから出発しようとする職員の熱意を、無謀とも思わずに温かく見守ってくださった中澤校長のおかげであろう。海外の学校が独自の日本文化をもっているということは、単に子どもたちが日本の文化に接する場があるというだけでなく、現地の学校との親善交流などの場での演奏を通して日本文化を紹介し、国際理解の礎を築くものでもある。カラカス太鼓は、このように我々の学校のアイデンティティになっていくだろう。音にさらに磨きがかかり、カラカス日本人学校の文化として脈々と続いていくことを心から願っている。

発表歴(児童生徒)・コレヒオ・フンボルトとの親善交流(H7.5.26) 「アビラのひびき」

・平成7年度 運動会(H7.9.23) 「アビラのひびき」

・学校創立20周年記念式典(H7.1.1.25)「友情のフェイスタ」「アビラのひびき」「海をこえて～Las Olas～」

【職員】・鈴木教諭お別れの会(H7.1.28) 「アビラのひびき」

・カラカス日本人会20周年祝賀会(H7.8.27)「アビラのひびき」「海をこえて～Las Olas～」

つづく

